

## 地上デジタル放送が受信できる携帯電話を開発

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:ビル・モロー)は、シャープ株式会社、NHKと協力し、モバイル向け地上デジタル放送を受信し、移動体通信と放送の融合サービスを実現する携帯電話の試作機を開発しました。

今回開発した試作機は、日本のモバイル機器向け地上デジタル放送の規格に準拠しており、H.264/AVC<sup>1</sup>による映像の受信再生や、デジタル放送の特長の一つであるBML(Broadcast Markup Language)<sup>2</sup>によるデータ放送の表示にも対応しています。また、約2時間のデジタル放送の視聴を実現しており、デジタルテレビを視聴しながらメールやウェブを確認できる画面の複数分割表示機能も搭載しています。

ボーダフォンでは当試作機を利用して、放送番組の補完情報や付加情報を通信経由で提供するサービスや、クイズ番組やアンケートへの参加などの通信を使った放送番組との連動サービスなど、通信と放送の融合によるサービスについて携帯電話の操作性も含めて検証します。さらに今後、モバイル向けデジタル放送のサービス開始に合わせた対応携帯電話の投入を目指すとともに、より魅力的なサービスの開発を進めてまいります。

なお今回開発した試作機は、今月26日(木)から29日(日)まで開催されるNHK放送技術研究所の最新の研究成果などを一般公開する「技研公開2005」に出展されます。また、現在愛知県で開催されている「愛・地球博」のグローバルハウスでも、来月1日(水)から9月25日(日)まで出展される予定です。

- 1 モバイル向けの放送で使用される、動画のデジタル符号化技術であり、高い圧縮率でデータ量を少なくしつつ鮮明な画像を保てる技術。
- 2 ARIB(社団法人電波産業会)で策定された、デジタル放送向けのコンテンツ言語。動画、音声の双方向性やインターネットとのリンクを提供する技術。

以上

- Vodafone およびスピーチマークデバイスは、Vodafone Group Plc の登録商標または商標です。
- ボーダフォングループは、世界26か国で約4億1640万人以上の加入者(2004年12月末現在、出資全子会社の合計加入者数)を持ち、さらに14か国の事業者と提携して世界をリードする携帯電話会社です。